かけがえのない絆になるのではな

V

家族が集まる時間に、

家をつくると

に込

め た

あ

なたの願

N

を話すことも

そうして家族のことを一緒に考えるひ

大切にしています。

お父さんやお母さんの毎日

のことを話す

あ

間に、

そんな皆さまの団らんに

ス

は

お役に

ち た

私たちの願いの軌跡でもある

スウェーデンハウス 三十年の物語

を、

Va

人が人らしく自然と調和して豊かに暮らす」。

そんな純粋な理想を求めたまちづく ーデンハウスの生みの親となる手取貞夫氏や りが北海道ではじまりま

聖路加国際病院理事長の日野原重明氏です

この家との出会いが、スウェーデンハウスの原点となりま 彼らが目にしたのは、 彼らは当時の日本にはなかった、 年も快適を保ち続けるというその家に、彼らはただ驚くしかありません。 北米から北欧へと続いた旅は、 厳寒の雪景色に建ち並ぶスウェーデンの木の家。 質よりも価格や供給量が重視され、 人の心を満たし続ける家を求めて世界へ旅立ちます。 思いもよらぬ衝撃的な出会いを迎えます

## 満をかる

すでに生活そのものが文化であり人生の楽しみとする考えが根づいていま ら広がる家族の満ち足りた笑顔を目標として、 自然とともにありながら快適な暮らしを実現する木の家 ーデンヒルズ」 日本が忘れかけていた豊かさを見ます



【スウェーデンヒルズの歩み】

1972年 北海道石狩地区にニュータウン構想

1980年 スウェーデン村に実験棟2棟完成

北海道とスウェーデンの交流のシンボル・スウェーデン村構想

1978年 スウェーデン駐日大使が訪問





THE SWEDEN HOUSE 153

私たち自身が生活者として暮らしたいと望む、 森の代まで快適を支え続ける性能の家をお届けしてきました。 すーナーの皆さまのご信頼があってこそ。 全国で家づくりをお手伝いできるようになったことも、 温かいお声をたくさんいただいたお陰です。

私たちは、スウェーデンハウスならではの暮らし

ナーの皆さまから教えていただ

私たちは、三十年にわたる皆さまとの交流

ヘウェーデンハウスの高性能は家

へ顔のためにあることを、

豊かさや幸せは、性能だけでは測ることはできません。

が大きな支えとなり、思いきり暮られ